



## 『まなびや縁側』の3つの拠点で、

— ここから「ワタシ」が始まる。さあ、一步を踏み出そう —  
子どもたちの学びの輪が広がっています。

### まなびや縁側 拠点一覧

	日南町	日野町	江府町
場所	ぶらら2階 (生山駅隣り)	日野町山村 開発センター	愛ベル(まなべる) こうふ2階 (江府町防災・情報センター)
電話番号	080-8035-1460	080-1338-0743	0859-75-2005
開塾時間	月～金曜日 放課後～21時 ※その他イベント等の時間は別途決定		
対象生徒	日南中学3年生 町内の高校生 日野郡内の高校生 日野高校生	日野郡内の高校生 日野高校生	奥大山江府学園 6～9年生 日野郡内の高校生 日野高校生
塾費 (月額)	高校生:1,000円 ※中学生は無料	高校生:1,000円	高校生:1,000円 ※奥大山江府学園の 生徒は無料
講師	 佐々木俊宙 (ささきとしひろ)	 中谷柊哉 (なかたにしゅうや)	 阿部将樹 (あべまさき)  青柳仁人 (あおやぎひろと)
コーディネーター	 請川雄哉(うけがわゆうや)		

江府拠点 昨年度まで実施して  
が期待されます。  
より幅広い学びの場となること  
を大事にしなが、より生徒の  
意欲を引き出せるよう講師や  
コーディネーターが様々な工夫  
をしていきます。もちろん塾生  
であれば、3町すべての拠点を  
利用することができますので、  
より幅広い学びの場となること  
が期待されます。

日野拠点 県外から日野高校に  
入学し双葉寮で生活している生  
徒や、中学時代に『まなびや縁  
いた中学生の自主学習の場と  
『まなびや縁側』を統合して開  
設されました。特に水曜日は部  
活動がない日で、幅広い学年の  
たくさんの方が放課後の学習  
に取り組んでいます。



日野拠点にて、昨年度のスタッフ(後列)と  
生徒たち(前列)

地域の担い手を確保するためには、現在日野郡に暮ら  
している子どもが将来、この地で暮らし地域を支えていく  
ことが望まれるところですが、義務教育終了後に地域と  
のつながりが薄れてしまう子どもも少なくないようです。

日野郡3町が令和2年に開設した日野郡公設塾『ま  
なびや縁側』では、地域や進路のことを考えてもらうプ  
ログラムを提供することで、高校生一人一人の教科学習  
が充実し、自分らしく挑戦する若者として育つことを目指  
しています。

地域の担い手を確保するためには、現在日野郡に暮ら  
している子どもが将来、この地で暮らし地域を支えていく  
ことが望まれるところですが、義務教育終了後に地域と  
のつながりが薄れてしまう子どもも少なくないようです。  
日野郡3町が令和2年に開設した日野郡公設塾『ま  
なびや縁側』では、地域や進路のことを考えてもらうプ  
ログラムを提供することで、高校生一人一人の教科学習  
が充実し、自分らしく挑戦する若者として育つことを目指  
しています。  
特別に編成されたプロジェクト  
チームで数度にわたって検討  
しましたが、当初は企画がまと  
まらず、事業化はほど遠い状況  
でした。しかし、各町の努力に  
加え、県も調整役としてとりま  
とめ作業をサポートすることで  
、徐々に公設塾の形が見えて  
くるようになりました。  
令和元年六月に、3町の教育  
委員会、中学校長、地域住民と、  
日野振興センター、そして日野  
高校からなる日野郡ふるさと教  
育推進協議会の設立総会が開催  
され、日野郡在住の高校生と日  
野高校在学を対象とした公設  
塾を、令和2年度に開設するこ  
とを決定しました。  
こうして、公設塾『まなびや  
縁側』が、発議から一年半後の令  
和二年六月にプレオープン、九月  
にグランドオープンしました。

◆公設塾『まなびや縁側』が  
できるまで  
日野郡の各町長と日野振興セ  
ンター所長の会議(平成三十一年  
一月開催)の中で、人口減少  
が著しい日野郡においては、高  
校生に対する「ふるさと教育」  
を独自に実施していくべきでは  
ないか、という議論が行われた  
結果、3町長が賛同する形で検  
討がスタートしました。

◆一人一人に合わせた『まなび  
や縁側』の学習カリキュラム  
公設塾のコンセプトや育成す  
る生徒像は、地域住民や役場職  
員、日野高校教職員などで開催  
するワークショップやシンポジウ  
ムを通じて練り上げて、目指す  
生徒像を『やらいや』精神を持っ  
た生徒」と決定しました。「や  
らいや」精神とは、次の3点を  
意味しています。  
「やる」＝主体的に行動する  
「つながる」＝地域とつながり、  
仲間を作る  
「ひろがる」＝自分と地域の広が  
る未来を描く  
そして、一人一人の学びの過程  
に合わせて、「自分を知る」→「社  
会を知る」→「活動の場を選ぶ」  
と学習を発展させることができ  
るよう講師が生徒の思いを引き  
出し、学びを支援しています。  
「自分を知る」過程では、自  
己理解や共感のワークショップ  
などを通して、自分や周りの人  
を理解します。  
「社会を知る」過程では、課  
題解決学習や地域のイベント参  
加、自分でイベントを作る体験  
などを通して、気になる場所や  
出来事を見つけ、なぜそうなる  
のか、どうすれば変えられるか  
などの課題解決策を考えます。

そして、「活動の場を選ぶ」  
過程では、地域フィールドワー  
ク(地域調査)や職場研修、発  
表会やコンテスト出場などを通  
じて、自分で見つけた地域課題  
を自分の得意なことを使って解  
決する活動などを行います。  
これらの学習カリキュラムは、  
自立学習の習慣を身につけ基礎  
学力を付けていくことと並行し  
て行われます。もちろん定期試  
験や入試等に向けた学習の支援  
を受けられますし、AO入試や  
推薦入試に欠かせない体験の機  
会も自然と得られ、今年度から  
始まる高校の探究学習課題「総  
合的な探求の時間」にも対応し  
ています。

◆地域により近く！  
3つの拠点を開設  
二年間は日野町山村開発セン  
ターで開設していた『まなびや  
縁側』ですが、今年四月から、  
地域により近い場所ので、3町そ  
れぞれの特徴を生かした学習が  
できるよう、各町の拠点を開設  
しました。  
日々の学習活動はそれぞれの  
生徒が通いやすい拠点で行い、  
ワークショップやイベントなど  
は、一か所に集まって実施する予  
定です。開設当初のコンセプト

◆日南拠点 全く新しく拠点を  
作ったことから通っている生徒  
はまだ少ないですが、定期的に  
通って学習する生徒の姿があり  
ます。学年を越えてたくさん  
の仲間ができると思います。

◆日野郡3町の連携で  
広がる学び  
日野郡3町では、公設塾『ま  
なびや縁側』の運営や日野高校  
の魅力向上に取り組み中で、幼  
児期、学童期から高校生に至る  
各段階で連携した取組をさらに  
進めていこうという機運が高ま  
り、今年一月に『日野郡教育ビ  
ジョン』を策定しました。  
3町が連携して取り組むこと  
で、小規模校で学ぶ日野郡の子  
どもたちが、パソコンなどのI  
T機器を活用して多様な価値観  
に触れ切磋琢磨する機会を作  
ったり、地域で働く人や暮らし  
を支える人、歴史や文化をよく知  
る人などから学ぶ機会をさらに  
増やしたりしていくことになる  
でしょう。



上)日野拠点  
上級生や大人と話すことに慣れ、  
将来に役立つことでしょう。



右)江府拠点  
楽しく学習して  
います。  
左)日南拠点  
ゆったり♪

側』を知り進学後に早速入塾し  
た生徒もいます。  
新入生が上級生から部活やテ  
ストなど学校生活について教わ  
る場面もあり、気軽に話せる『ま  
なびや縁側』のよさが感じられ  
ます。

日野郡に暮らす子どもたち  
が、将来に希望を持って意欲的  
に学び、可愛がって育ててくれ  
た日野郡を愛し続けてくれるこ  
とを心から願っています。